

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公開番号】特開2011-233948(P2011-233948A)

【公開日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2010-99614(P2010-99614)

【国際特許分類】

H 04 M 1/73 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/73

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月1日(2013.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

消費電力を抑える省電力モードが設定でき、特定状態で特定時間が経過すると省電力状態に遷移する、携帯電話機であって、

前記省電力モードにおいて、前記省電力状態に遷移させるための時間を第1設定時間として記憶する第1記憶部、

任意に設定された時間を、前記省電力状態に遷移させるための第2設定時間として記憶する第2記憶部、

前記省電力モードが設定され、さらに前記特定状態のとき、前記第2設定時間が前記第1設定時間よりも短いか否かを判断する判断部、および

前記判断部によって前記第2設定時間が前記第1設定時間よりも短いと判断されたとき、前記第2設定時間を前記特定時間として設定する設定部を備える、携帯電話機。

【請求項2】

消費電力を抑える省電力モードが設定でき、特定状態で特定時間が経過すると省電力状態に遷移し、前記省電力モードにおいて、前記省電力状態に遷移させるための時間を第1設定時間として記憶する、携帯電話機のプロセッサを、

任意に設定された時間を、前記省電力状態に遷移させるための第2設定時間として記憶する記憶部、

前記省電力モードが設定され、さらに前記特定状態のとき、前記第2設定時間が前記第1設定時間よりも短いか否かを判断する判断部、および

前記判断部によって前記第2設定時間が前記第1設定時間よりも短いと判断されたとき、前記第2設定時間を前記特定時間として設定する設定部として機能させる、省電力制御プログラム。

【請求項3】

消費電力を抑える省電力モードが設定でき、特定状態で特定時間が経過すると省電力状態に遷移し、前記省電力モードにおいて、前記省電力状態に遷移させるための時間を第1設定時間として記憶する、携帯電話機の省電力制御方法であって、

任意に設定された時間を、前記省電力状態に遷移させるための第2設定時間として記憶し、

前記省電力モードが設定され、さらに前記特定状態のとき、前記第2設定時間が前記第

1 設定時間よりも短いか否かを判断し、そして

前記第2設定時間が前記第1設定時間よりも短いと判断されたとき、前記第2設定時間を前記特定時間として設定する、省電力制御方法。